			評価)						
事務事業名	菌床し	、いたけ生産整	E備補助事業			事業開	始年度 平	·成18年度	
担当課	産業経	E済部 農政課	2		担当者	津:	久井 佑		
■事業の執行計	画【計画(Plan)】								
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立			
	基本事	第業 01	農業生産基盤	盤の整備					
古世の口む	菌床し	いたけの生産	に必要な施設(簡	3易ハウス)	や機械等の導	拿入・整備し、	菌床しいた	けの	
事業の目的	生産量	の向上及び、	菌床しいたけの制	は培振興を	図る。				
古米の畑田	事業を	実施する農家	に対し、最盛期を	過ぎた菌属	末を活用するた	とめの保管施設	と、原料等の	保存	
事業の概要			びに生産体制の拡						
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7:	年度	
事業費の推移	実紀	漬/当初予算	実績		実	績	1	当初	
		総事業費	101		53		228		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)							
	指標	+15.4	ボ ク 1 4-	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分		票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
お海の米杉	ニモ	菌床しいたけ経'	営農家でハウス施設	14	n	n	1	2	
指標の推移	活動	を導入し、成果	を上げた戸数	件	Z	2		2	
	評価	ī ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の		当初計画し	ていた事業計画	(申請予定	:) のとおり事	業が完了でき	た。		
評価と説明	説明	∃							
見直し余地	判定	○数年内	こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	除地なし		
■将来方向性【	改善(Action)]						_	
事業の方向性	〇見直	夏し継続 ●明	見状どおり継続	〇廃止・				_	
資源方向性	予算	算額 〇拡大			業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	\	

1 100 1 111 111 11 11			評価)									
事務事業名	農産物	農産物病害虫防除対策補助事業 事業開始年度 平成17年度										
担当課	産業経	経済部 農政説	Ę.		担当者	宗	形 敦史					
■事業の執行計	画【計	【計画 (Plan) 】										
	政策											
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立						
	基本事	業 01	農業生産基盤	盤の整備								
±** 0 □ 44	無人へ	リコプターを	使用した農薬散布	による病	害虫防除を行う	ことにより、	農業の増収。	と安				
事業の目的		農業経営を目										
丰业。 加亚			策事業に対する補	助金。麦	・大豆・水稲へ	の無人へリニ	コプターを使用	用し				
事業の概要			害虫防除及び野人									
■事業実施結果	【実施											
		年度	5年度		6年	度	7:	手度				
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績	当初					
7 7 7 7 7 7 7 7		総事業費	1. 350		1. 35			350				
■前年度の事業:	分析【	評価(Check)					·					
	指標	+6.1		34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度				
	区分	打 百个	票名称	単位	実績	実績	計画	計画				
指標の推移	成果	無人ヘリコプタ	一による病害虫防除	ha	1, 166	1, 161	1, 085	1, 085				
7日1示り7日1夕	八木	の農薬散布面積		IIa	1, 100	1, 101	1, 000	1,000				
	評価				成した 〇達							
達成度の		計画面積る	と概ね達成し、事	業計画に基	゙ づきラジコン	ヘリによる農	薬散布を実施	した。				
評価と説明	説明]										
見直し余地	判定		こ見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要の分	≷地なし					
■将来方向性【〕	7	Action)]										
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・								
資源方向性	予算	算額 ○拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	\				

1 100 1 VIVE 1 V	通常評価	事業 事後	:評価)								
事務事業名	県単かん	∪がい排水事	業			事業開	始年度 昭	和24年度			
担当課	産業経済	許 農政課	₹		担当者	育	藤 和希				
■事業の執行計	画【計画	可【計画(Plan)】									
	政策 04 くらしを支える強固な経済基盤										
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立					
	基本事業	€ 01	農業生産基盤								
事業の目的	農業用水	、路や頭首工	等の農業水利施設	との機能向_	上を図る。						
事業の概要	の55% (事業により土地改 ・市補助20%) <i>の</i>			色設の改修工事	事に対して事業	業費			
■事業実施結果	【実施((Do)									
	2	年度	5年度		6年	度	74	年度			
事業費の推移	実績/	当初予算	実績		実	績	当初				
	総	事業費	24, 172		5, 3	5, 396 10, 340					
■前年度の事業	分析【評	価 (Check)]								
	指標	+15.4	西夕圻	光十	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	扫打	票名称	単位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	活動事	業により改修	等を実施した施設数	箇所	3	1	1	1			
	評価	■達成、村	既ね達成した ()多少は達	成した 〇遺	成できず					
達成度の		江川南部出	上地改良区事業鹿·	子畑地区11	箇所の水路改り	多工事に対しネ	捕助を行った。	.			
評価と説明	説明										
見直し余地	判定	〇数年内(こ見直し可能 ()余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	※地なし				
■将来方向性【	改善(Ac	ction)									
事業の方向性		→継続 ● 明	状どおり継続	〇廃止・ 3	 完了						
資源方向性	予算額				業務量	○拡大●	現状 〇縮小	`			

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)					
事務事業名	県単農	道整備事業				事業開	始年度 平	·成17年度
担当課	産業経	済部 農政課	2		担当者	齊 齊	藤和希	
■事業の執行計		画(Plan)】			*	***		
	政策	04	くらしを支え	こる強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	01			た農林水産業	の確立		
	基本事	業 01	農業生産基盤	盤の整備				
車業の日的			整備することによ	い、農産物	勿搬送時の荷像	易み防止、農業	Ě機械等走行	費用
事業の目的	及び農	道維持管理費	の削減を図る。					
古米の押用	県単独	農業農村整備	事業(補助率30%	6) により	農道の整備を行	うい、農業経営	の効率化、「	 白上
事業の概要	を図る	0						
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	7:	年度
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	当初
	á	総事業費	6, 890		13,	786	17,	450
■前年度の事業	分析【	評価(Check)]					
	指標	+6+	西夕	出任	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	打 目1	票名称	単位	実績	実績	計画	計画
お海の米投	活動	业动左车数准文	曲光江目		145	275	275	328
指標の推移	冶勁	当該年度整備済	長担延女	m	140	273	273	320
	評価	i ■達成、	既ね達成した()多少は達	成した 〇達	成できず		
達成度の		当初計画し	ていた農道整備	1箇所につ	いて実施した。			
評価と説明	説明							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	≷地なし	
■将来方向性【	改善(Action)]						
事業の方向性		し継続 ●明	現状どおり継続!	〇廃止・	完了			
資源方向性	予算				業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	١

事務事業調書(通常評価	西事業 事後	評価)							
事務事業名	農道等	整備補修事業				事業開	始年度 平	成26年度		
担当課	産業経済	済部 農政課	Į.		担当者	育	藤 和希			
■事業の執行計		【計画 (Plan) 】								
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立				
	基本事	業 01	農業生産基盤							
+ 414 0 17 44			繕を行い施設の通		が行う。					
事業の目的			物搬送時荷傷みり			削減を行う。				
			模な修繕及び農道			1111194 (2 1 7 0				
事業の概要		2,00 H2 47 1 790	ス ひ P9 小日 人 し 放え	= • > Amaz • 1						
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	. 度	7:	年度		
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実	績	当初			
	総	多事業費	63, 604		49. 2			16, 100		
■前年度の事業	分析【許	平価 (Check)								
	指標	4F.1	ボ ク 1 k	224 / L	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	f百↑	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
15.1m o 14.1b		Et 144 55 = C 444		44 =r	0		1	4		
指標の推移	活動	整備箇所数		箇所	2	3	I	l l		
	評価	●達成、村	既ね達成した(○多少は達	成した 〇達	成できず		•		
達成度の			望のあった農道							
評価と説明	説明				7,100					
11 III C 150 71	170 71									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	≷地なし			
■将来方向性【		ction)								
事業の方向性	〇見直	し継続 ● 耳	状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算		○現状 ●縮小		業務量	○拡大●	現状 〇縮小			

事務事業調書(通常評価事業 事後評価)											
事務事業名 土地改良施設維持管理適正化補助事業	事業開	始年度 平	成26年度								
担当課 産業経済部 農政課 担当者	齋	藤 和希									
■事業の執行計画【計画 (Plan) 】	画【計画(Plan)】										
政策	政策										
総合計画体系 施策	の確立										
基本事業 01 農業生産基盤の整備											
事業の目的 市内の土地改良施設の機能維持と防災・減災力の確保を図る。											
事業の概要 土地改良区が土地改良施設維持管理適正化事業を導入して農業 事業費の一部を補助する。	水利施設の整	を備補修等を1	行う								
■事業実施結果【実施(Do)】											
年度 5年度 6年	度	7:	年度								
事業費の推移 実績/当初予算 実績 実績	漬	<u>1</u>	当初								
総事業費 2,902 35	0	4,	078								
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
指標 指標名称 単位 5年度 1	6年度	7年度	8年度								
区分 相保石桥 単位 実績	実績	計画	計画								
指標の推移 活動 整備補修等を実施した施設数 箇所 3	1	1	1								
評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達	成できず		•								
達成度の 土地改良区が管理する農業水利施設の補修工事に対	して補助を実	施した。									
評価と説明 説明											
見直し余地 判定 〇数年内に見直し可能 〇余地はあるがまだ時間	が必要 ●全	≷地なし									
■将来方向性【改善(Action)】	<u>~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ </u>	<u> </u>									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了											
資源方向性 予算額 O拡大 O現状 ●縮小 業務量	O拡大 ●	現状 〇縮小									

			評価)								
事務事業名	土地改	文良施設管理 団	日体補助事業			事業開	開始年度	平成26年度			
担当課	産業総	E済部 農政認	ŧ		担当者	育	藤 和希				
■事業の執行計											
	政策										
総合計画体系	施策	01	時代とニース			の確立					
10 HHILITAN	基本事	3業 01	農業生産基盤			· · · —					
古世の口が			に維持管理する。	T-1- 1111							
事業の目的											
古米の畑田	土地改	良区等が管理	する土地改良施設	の維持管理	浬に要する費	用及び賠償責任	E保険加入0	D費用			
事業の概要	の一部	3を補助する。									
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年	F度		7年度			
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実	. 績		当初			
		総事業費	5, 999		6, 2			6, 511			
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)]								
	指標	+15.4	亜 夕 Ұ-	光上	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分		漂名称	単位	実績	実績	計画	計画			
15.12 O 14.10		維持管理経費の	負担が軽減した土地		0	7	7	7			
指標の推移	活動	改良区及び管理		団体	3	/	/				
	評価	f ●達成、	概ね達成した ()多少は達	成した 〇道	を成できず		·			
達成度の		土地改良区	医等の団体が実施			持管理事業へ	の補助によ	り適正な維持管			
評価と説明	説印										
#1 III = #10 73	1,00										
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●斜	戻地なし				
	改善(Action)									
事業の方向性		正し継続 ●明	現状どおり継続	〇廃止·	完了						
資源方向性		算額 〇拡大		, _ ,	業務量	○拡大●	現状 〇縮	小			

1 100 1 VIVIN V	通常評価	Б事業 事後	:評価)								
事務事業名	市の堀月	月水改修事業				事業開	始年度 平	成30年度			
担当課	産業経済	幹部 農政課	1		担当者	小	森 大輔				
■事業の執行計	画【計画	ī (Plan) 📘									
	政策										
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立					
	基本事業	美 01	農業生産基盤	盤の整備							
古米の口的	整備後80	0年が経過し	老朽化した市の堀	祖用水(押_	上~松山新田の	D区間L=6.8km)の改修を栃	木			
事業の目的	県が行う	,									
古米の押用	栃木県か	ぎ 実施する改	修費用の一部を関	原する2市	4町(真岡市、	さくら市、市	貝町、芳賀町				
事業の概要	塩谷町、	高根沢町)で	受益面積に応じ	て費用負担	!する。(平成3	0年度負担開始	台)				
■事業実施結果	【実施((Do)									
	:	年度	5年度		6年	度	74	∓度			
事業費の推移	実績/	′当初予算	実績		実	績	当初				
	総	事業費	25, 802		43,	681	1, (043			
■前年度の事業	分析【評	描 (Check)									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	181	示句例	平位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果整	· 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に に に に に に に に に に に に に		%	0	10	24	36			
担保の推修	八米 宝	21用 卒		90	O	10	24	30			
	評価	■達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇遺	成できず					
達成度の		令和6年度	水路工651.89mを	実施。							
評価と説明	説明										
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (D余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	除地なし				
	711	ction)]									
事業の方向性	O見直し		状どおり継続	〇廃止・							
資源方向性	予算額	47 A LL I	〇現状 〇縮小		業務量	○拡大●	現状 〇縮小				

	通常評価		評価)					
事務事業名	農道等	普請事業				事業開	開始年度 平	成30年度
担当課	産業経	済部 農政課	Į.		担当者	育	藤 和希	
■事業の執行計	画【計画							
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	01			た農林水産業	の確立		
	基本事		農業生産基盤					
事業の目的			るための事業に要	要する原材料	料費等を助成る	することにより	り、農業用施記	殳の
争未の日的		長寿命化等を						
事業の概要	助成対	象者に対して	、農業用施設の整	を備に伴う	原材料費及び村	幾械借り上げ料	4を助成する。	
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度			F <u>度</u>		年度
事業費の推移	実績	[/当初予算	実績			! 績	当初	
		総事業費	1, 355		2, 5	556	2,	000
■前年度の事業	<u>分析【</u>	評価 (Check)]					
	指標	<u>+</u> ⊑+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	7日1	示句例	丰四	実績	実績	計画	計画
指標の推移	活動	整備件数		件	2	3	4	4
打印示り作物	/白刬 :	歪		17	2	3	4	4
	評価	●達成、	既ね達成した (う多少は達	成した 〇遺	を成できず		
達成度の		地元から3	件の申請の実施。					
評価と説明	説明							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (○余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●弁	余地なし	
■将来方向性【	711	Action)]						
事業の方向性		し継続 ●明	状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	「額 〇拡大	∶●現状 ○縮小		業務量	○拡大●	●現状 〇縮小	١

事務事業調書(通常評	·価事業 事後	評価)								
事務事業名	農業用ため池防災減災対策事業 事業開始年度 令和 2年度										
担当課	産業総	E済部 農政談	2		担当者	齊	藤和希				
■事業の執行計	画【計	画【計画(Plan)】									
	政策										
総合計画体系	施策	01	時代とニース			の確立					
	基本事	第 01	農業生産基盤	盤の整備							
事業の目的	農業用	ため池の防災	減災を図る。								
事業の概要	農業用	ため池の防災	減災を図るため、	必要な防	災減災対策を	実施する。					
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年	度		7年度			
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実	績	当初				
		総事業費	36, 322		27,	053	1	41, 620			
■前年度の事業:	<u>分析【</u>	評価 (Check)									
	指標	t⊵:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1日1	宗 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	- 単位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	活動	防災減災対策を 池の数	実施した農業用ため	箇所	7	3	2	4			
	評価	 ■達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇遺	成できず					
達成度の							業務を実施	できた。			
評価と説明	当初計画していた防災重点ため池3箇所の防災工事実施設計測量業務を実施できた。 説明										
見直し余地	知定	○数年内	こ見直し可能 (金地はあ	るがまだ時間	が必要 ●4					
		Action)	-June 0 1910 (J 714- D104 (J)	W/W 04/CF1] F	<u>,,,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,</u>	1D 0. D				
事業の方向性			現状どおり継続	○廃止・5	完了						
資源方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了 予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小										

	通常評価		評価)					
事務事業名	栃木の米	づくりプロ	1ジェクト推進事	業			始年度 台	分和 5年度
担当課	産業経済	部農政調	*		担当者	向	田貴彦	
■事業の執行計		(Plan)						
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立		
	基本事業	01	農業生産基盤	盤の整備				
事業の目的	米生産の	コスト低減	や米の品質向上を	図る				
事業の概要		スト生産の	実証および「とち	らぎの星」(の品質向上の	実証に係る経費	愛の助成	
■事業実施結果	【実施(Do)						
	左	F度	5年度		6年	F度	7	年度
事業費の推移	実績/	当初予算	実績		実	: 績	当初	
		事業費	0			0		0
■前年度の事業	分析【評	<u>価(Check)</u>						
	指標	±⊑±	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	111	宗1717	辛匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果 事	業申請件数		件	0	0	1	1
	評価	〇達成、	既ね達成した ()多少は達	成した ●道	を成できず	<u>, </u>	
達成度の	рт іры		がなかったために					
評価と説明	説明	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	0.70 372720312	· 1/1/22/9		,,_		
11 m C 100.01	170.51							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ● 剣	会地なし	
■将来方向性【	改善(Ac	tion)]						
事業の方向性	〇見直し	.継続 ● ³	!状どおり継続	〇廃止・	完了			
資源方向性	予算額		: ○現状 ●縮小		業務量	□ ○拡大 ●	現状 〇縮/]\

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	農地利	用効率化等支	援交付金		事業開始年度				
担当課	産業経	済部 農政課	Į.		担当者	宗	形 敦史		
■事業の執行計									
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立			
10	基本事	業 01	農業生産基盤	2の整備					
事業の目的			将来の農地の集約		を置いた農地を	利用を実現し、	経営改善を図	図る	
事業の概要	経営改	善の取組に必	要な農業用機械・	施設の導ん	入に対する支持	爰			
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	F度	7至	∓ 度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	<u>:</u> 績	当初		
	¥	総事業費	0			0 9,000			
■前年度の事業	分析【	評価(Check)							
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	TE T	示句例	中世	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	事業申請件数		件	0	0	1	1	
	評価	i O達成、	既ね達成した (○多少は達	成した ●ほ	成できず	•		
達成度の									
評価と説明	事業活用がなかったために、目標達成とならなかった 説明								
見直し余地	判定	○数年内(こ見直し可能 (つ全地はあ	るがまだ時間	が必要 ●4	地なし		
		Action)		J //\~	, 0 % O. / C HIJ F		1,50.0		
事業の方向性			状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算				業務量	○拡大●	●現状 〇縮小	\	
スポップトリエ	17				不切主				

事務事業調書(通常評		評価)						
事務事業名		市農産物PF						成24年度	
担当課	産業経				担当者	小力	屈良太		
■事業の執行計		画(Plan)】							
	政策	04	くらしを支え						
総合計画体系	施策								
	基本事		付加価値の高						
事業の目的	市農産!	物をPRし消費	者の理解が進むこ	ことにより、	さくら市農産	を物の売上額 か	「向上する。		
事業の概要			し、産農産物の「 の促進を図る。	「新鮮さ」	や「美味しさ」	を理解しても	らい、安全安	心	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	. 度	
事業費の推移	実績	[/当初予算	実績		実績		当初		
1.21.35.12.12	総事業費 2,097 1,177				00				
■前年度の事業	分析【記	评価 (Check)			·		,		
	指標	+15.4		ж <i>I</i> т	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	打 百1	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	市町村別農業産	出額	千万円	906	1, 038	1, 048	1, 059	
	評価	〇達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず	•		
達成度の			頃は増加傾向にあ				した。		
評価と説明	説明								
見直し余地	判定	○数年内	こ見直し可能	全地けた	るがまだ時間	が必要 〇全	: :地なし		
	· · · ·	Action)	-70E O 11 III	- // 1 0 0,	, U. 70 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	<u> </u>	(- <u>-</u>		
事業の方向性	〇見直		現状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算				業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(通常評	F価事業 事後	評価)								
事務事業名	氏家均	也区農産物直売	所運営事業			事業開	始年度 平	成26年度			
担当課	産業約	圣済部 農政語	₹		担当者	f 小:	堀 良太				
■事業の執行計	画【計画(Plan)】										
	政策 04 くらしを支える強固な経済基盤										
総合計画体系	施策	極策									
	基本基	事業 02	付加価値の高	い農林水	産業の確立						
古世の口め	地産地	也消の拠点の場	を提供することで	で生産者及び	び消費者相互の	の交流の機会を	を創出し、農村	木業			
事業の目的			性化を図ることを								
古米の畑市	氏家地	也区農産物直売	所「菜っ葉館」を	·指定管理	者に管理・運営	営を委託し、旅	施設を良好な物	犬態			
事業の概要		つとともに適正									
■事業実施結果	【実施	(Do)]									
		年度	5年度		6年	度	73	年度			
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績	7	á初			
		総事業費	19, 176		10, 0	034	7,	432			
■前年度の事業	分析【	【評価 (Check)]								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1日1	示句例	中世	実績	実績	計画	計画			
上 指標の推移	活動	施設維持管理上	の枚丝件券	件	3	2	3				
担信の推修	心勁	他故權符官连工	の修繕件数	1+	3	2	S				
	評估			う多少は達		成できず					
達成度の		空調機修約	善、防犯カメラ等	更新工事を	実施した。						
評価と説明	説明	月									
見直し余地	判员	臣 ●数年内Ⅰ	こ見直し可能 (⊃余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし				
	710	(Action)]									
事業の方向性		直し継続 ○明	!状どおり継続	〇廃止・							
資源方向性	予:	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小	1	業務量	○拡大	現状 〇縮小	١			

事務事業調書((評価)					
事務事業名	畜産扱	長興補助事業 💮				事業開	開始年度 令	和 6年度
担当課	産業組	E済部 農政談	ŧ		担当者	佐	藤 大樹	
■事業の執行計	画【計					<u> </u>		
	政策	04	くらしを支え					
総合計画体系	施策	01	時代とニース			の確立		
	基本事		付加価値の高					
事業の目的	畜産経	営を奨励し、	畜産経営者の経営	の安定化を	を図ることに。	よりその産地 <i>Φ</i>	つ確立を推進す	する
事業の概要	保留補	助事業	牛繁殖雌牛導入事	業、塩野	³ 農業協同組6	合畜産部会事業	美、高能力牛!	自家
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度			- 度		年度
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実績		当初	
		総事業費	0		2, 4	07	3,	780
■前年度の事業		評価 (Check)						
	指標	培士	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	181	未口仰	辛匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移	活動	繁殖雌牛導入事 数	業を活用した農家戸	戸		9	13	13
	活動	受精卵移植事業	を活用した農家戸数	戸		5	13	13
	評価	■ 〇達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇遺	重成できず こうしん		·
達成度の		受精卵移植	直事業は目標を達	成したが、	繁殖雌牛導入	事業は目標が	13戸に対して	実績が9戸と
評価と説明	説明	建成率が7	0%だった。					
見直し余地	判定	2	に見直し可能	오베け치	るがまだ時間	が必要 〇名		
		Action)		アノハッピ (の (が)	のいのに可用	110 XL X O 7	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
事業の方向性	O 見 直		見状どおり継続	〇廃止・	計 了			
資源方向性		算額 〇拡大	: ●現状 〇縮小		業務量	○拡大●	現状 〇縮小	`
- スポルノコ・コーユ					不切主		うらい ○空口ご	

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名		例事業				事業開	始年度 平月	成26年度		
担当課	産業経	済部 農業委	員会事務局		担当者	小力	倉 真理			
■事業の執行計										
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	⑥策 01 時代とニーズに合致した農林水産業の確立								
13 - 11 - 11 11	基本事	業 03	持続可能な農	農林水産業	構造の構築					
事業の目的			集積を図り、経営							
事業の概要			興公社が農地保有	百合理化事業	業を効率的かつ	円滑に推進す	るための事業	費		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7年	度		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績	当初			
		総事業費	98		9:	93 97				
■前年度の事業	分析【	評価(Check)								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	fe f	宗	中位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移		保有(買入)さ	れた農地面積	m [*]	58, 074	24, 685	30, 000	30, 000		
	評価	」 ○達成、	概ね達成した (○多少は達	成した ●達	成できず				
達成度の		地区担当剧	農業委員により地	域の担い手	に対してあっ	せんを行った	が、公社への	売渡面積が減		
評価と説明	説明									
		公社への引	も渡 7件 24,68	5 m ²						
見直し余地	判定	2 〇数年内	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	∜地なし			
■将来方向性【		Action)]								
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			

			:評価)								
事務事業名	有害鳥	獣駆除事業				事業開	開始年度 平	成26年度			
担当課	産業経	済部 農政課	*		担当者	津	久井 佑				
■事業の執行計	画【計										
	政策	04	くらしを支え	こる強固な	経済基盤						
総合計画体系	施策										
	基本事		持続可能な農								
事業の目的	農作物	に被害をおよ	ぼすカルガモやカ	ラス等を	駆除し、農作物	物被害を軽減す	ける。				
事業の概要	め、市	猟友会に依頼	水田においてカル し駆除する。	_ン ガモ・カ ´	ラス等によるネ	皮害が頻繁に発	き生しているだ	=			
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年	度	7年	F度			
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績 当初			首初			
		総事業費	733		1, 1	25	1, 4	426			
■前年度の事業	分析【	評価(Check)									
	指標	ti: t	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	111	宗1717	丰位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	カルガモ・カラ 害面積	ス等による農作物被	а	441	441	441	441			
	評価	●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず		•			
達成度の 評価と説明	説明)一斉捕獲により	カラス・カ	ルガモ等2013	羽を駆除した。					
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	除地なし				
■将来方向性【		Action)]									
事業の方向性		[し継続 ●明	!状どおり継続	〇廃止・	完了						
資源方向性	予算				業務量	○拡大	●現状 〇縮小	1			

事務事業調書((評価)					
事務事業名	使用済	F農業生産資材	才 適正処理対策補	助事業		事業開	始年度 平月	戊26年度
担当課	産業経	経済部 農政認	*		担当者	佐原	藤 大樹	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				<u> </u>		
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立		
	基本事	業 03	持続可能な農					
±***			を適正に処理し、)保全を図り、	排出される使	用
事業の目的			リサイクルを実施					
± # • m =			適正処理推進協議		て補助金を交付	する。使用済	F農業生産資材	を
事業の概要	収集し		する。負担割合は			J A 15%		_
■事業実施結果	【実施			<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	···			
		年度	5年度		6年	度	7年	度
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績	実績		績	 当初	
	i	総事業費	1, 462		1, 44		1, 8	90
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)]					
	指標	+6.	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	fe f	宗	単位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果		資材のリサイクル・	k g	105, 000	105, 350	119, 000	119, 000
1日1示り71日1夕	八木	処理量		Νg	100, 000	100, 000	119,000	119,000
	評価)多少は達		成できず		
達成度の			:使用済農業生産	資材を適正	に処理するこ	とができ、負	担額も減額にフ	なった。
評価と説明	説明]						
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	るがまだ時間	が必要 ●弁	<u>:地なし</u>	
		Action)]						
事業の方向性			<u>限状どおり継続</u>	〇廃止・				
資源方向性	予算	算額 │○拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

	通常評価		:評価)					
事務事業名	「作付参	考値」調整	条集落推進交付金	事業		事業開	開始年度 -	平成19年度
担当課	産業経済	部農政語	7		担当	吉	田暢希	
■事業の執行計		(Plan)						
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	美の確立		
	基本事業	03	持続可能な農					
事業の目的			対する意識が高ま			事務が円滑に進	進む。	
事業の概要		に対し、各	集落における転作	F面積に応	じて10a当 <i>た</i>	- り200円を	交付する。	
■事業実施結果	【実施(Do)						
	左	F度	5年度		64	丰度	,	7年度
事業費の推移	実績/	当初予算	実績		実績		当初	
	総事	事業費	3, 677		3,	554	3	3, 450
■前年度の事業	分析【評	価 (Check)						
	指標	+15-1	西夕	光上	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	打日1	票名称	単位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果 交	付率		%	93. 1	93	93	93
	評価	●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した Oi	達成できず		
達成度の		達成集落	対して適切に交	付を行った				
評価と説明	説明							
見直し余地	判定	●数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ○分	戻地なし	
■将来方向性【	改善(Ac	tion)]						
事業の方向性	●見直し	.継続 O3	状どおり継続	〇廃止・	 完了			
資源方向性	予算額		. ●現状 〇縮小		業務量	量 IO拡大 ●	現状 〇縮	/l\

	通常評価		·評価)					
事務事業名	JA塩里	P 谷喜連川生	- 産物出荷協議会	補助事業		事業開	始年度 平	成20年度
担当課	産業経済	幹部 農政課	Ę.		担当者	佐	藤 大樹	
■事業の執行計						·		
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	01	時代とニース	に合致し	た農林水産業	の確立		
1.5 [] [] [] []	基本事業	€ 03	持続可能な農					
			の喜連川生産物出 の事連川生産物出			・組合運堂の発	能化、組織連 換	集 .
事業の目的		の向上を図		1 1-3 22-11-11 11/11	************	14 L X L L V)	A 10 (111190 X 1)	/31
			<u>ູ。</u> 内の喜連川生産物	n出荷浦終t	な議会に補助す	に行う		
事業の概要			100百足川工庄10		加班五门加切	7 11 7 0		
■事業実施結果	【実施((Do)						
		年度	5年度		6年	度	7.5	 丰度
事業費の推移		/当初予算	実績		実			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
于不良切证的		事業費	134		1			34
■前年度の事業			191				<u>'</u>	<u> </u>
二的十人以子不	指標				5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	指植	票名称	単位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	┃活動 ┃喜	[連川生産物出	荷連絡協議会部会数	件	6	6	6	6
	_							
	11111111111111111111111111111111111111	■達成 :	舞わ達成し<i>た (</i>)多小仕達	成したの達	成できず		
達成度の	評価)多少は達		成できず	お音目な協会	たどの事業が
達成度の		新型コロブ	トウィルスが5類				や意見交換会	などの事業が
達成度の 評価と説明	評価説明		トウィルスが5類				や意見交換会	などの事業が
評価と説明	説明	新型コロガー再開した。	トウィルスが5類	感染症に移	行したことに	より、交流会		などの事業が
評価と説明 	説明	新型コロカ再開した。	トウィルスが5類	感染症に移		より、交流会	や意見交換会	などの事業が
評価と説明 見直し余地 ■将来方向性【	説明 判定 改善(Ac	新型コロガ 再開した。 〇数年内I ction)】	トウィルスが5類 こ見直し可能	感染症に移 ●余地はあ	るがまだ時間	より、交流会		などの事業が
評価と説明 	説明	新型コロガ 再開した。 〇数年内I ction)】 レ継続 ● 野	トウィルスが5類	感染症に移	るがまだ時間	より、交流会 が必要 〇分		

			:評価)						
事務事業名	経営所	f得安定対策直	直接支払推進事業			事業開	開始年度 平	成23年度	
担当課	産業経	経済部 農政認	*		担当者	f 吉	田暢希		
■事業の執行計	計画【計画(Plan)】								
	政策	04	くらしを支え						
総合計画体系	施策	01	時代とニース	<u> べに合致し</u>	た農林水産業	の確立			
	基本事	第業 03	持続可能な農	農林水産業	構造の構築				
事業の目的	経営所	得安定対策事	業への加入の推進	₤が図られん	5 .				
事業の概要	を行う	0	度における推進活	動や要件 で	確認等に必要と	こなる経費の補	輔助(国庫負担	旦)	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度		丰度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績	필	首初	
		総事業費	7, 110		7, 4	45	7,	550	
■前年度の事業	<u>分析【</u>	評価 (Check)							
	指標	t⊑:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	打 目1	示句你	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	経営所得安定対	策加入者数	戸	397	333	330	330	
	評価	□○達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず	•		
達成度の			O交付、圃場の確			処理を適切に	行った。		
評価と説明	説明]							
見直し余地	判定		<u> こ見直し可能 (</u>	<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 ●糸	地なし		
		Action)]							
事業の方向性			<u> 状どおり継続</u>	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	١	

東敦東学夕 「理接保会刑典業店技士授計築東業 東 東 東 東 東 東 東 東 東	
事務事業名 環境保全型農業直接支援対策事業 事業開始年度	平成23年度
担当課 産業経済部 農政課 担当者	
■事業の執行計画【計画 (Plan) 】	
政策 04 くらしを支える強固な経済基盤	
総合計画体系 施策 01 時代とニーズに合致した農林水産業の確立	
基本事業 03 持続可能な農林水産業構造の構築	
事業の目的 環境保全に効果の高い営農活動に取り組み、地球温暖化や生物多様性保全に貢献する	0
事業の概要 国際水準GAPを実施し、農業生産工程管理に取り組んでいる農業者に対し、カバープ、堆肥の施用等を実施した場合に交付金を交付する。	クロッ
■事業実施結果【実施(Do)】	
年度 5年度 6年度	7年度
事業費の推移 実績/当初予算 実績 実績	当初
総事業費 8,227 6,688	6, 090
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
実績 実績 実績 計画	計画
指標の推移 成果 取組面積 ha 138.61 108.71 110	115
評価 O達成、概ね達成した O多少は達成した ●達成できず	
達成度の 事業要件の見直しにより、取組者数が減少し目標未達成となった。 評価と説明 説明	
見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし	
■将来方向性【改善(Action)】	
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了	
	縮小

事務事業調書(通常評価	事業 事後	評価)							
事務事業名	利用状况	记調査推進事	業			事業開	始年度 平	成25年度		
担当課	産業経済	部 農業委	員会事務局		担当者	小	倉 真理			
■事業の執行計		【計画 (Plan) 】								
	政策									
総合計画体系	施策	策 01 時代とニーズに合致した農林水産業の確立								
	基本事業	€ 03	持続可能な農							
事業の目的		地が少なく								
事業の概要		問査(農地	法第30条調査) <i>の</i>)実施						
■事業実施結果	【実施(Do)								
	4	年度	5年度		6年	度	7至	丰度		
事業費の推移	実績/	当初予算	実績		実	績	当初			
		事業費	2, 609		3, 3	86	3, 8	819		
■前年度の事業	分析【評	価 (Check)								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	示句你	丰四	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	耕	作放棄地の面	積	ha	12. 4	11. 6	11.5	11. 4		
	評価	●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず	•	·		
達成度の		再生困難な	は農地については	非農地化を	進めるととも	に、遊休農地	については借	り手をあっせ		
評価と説明	説明	んするなと	ごして遊休農地の	発生防止に	三努めた結果、	耕作放棄地が	減少した。			
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ● 須	会地なし			
■将来方向性【		tion)]								
事業の方向性	O見直し	と継続 ● 明	!状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算額				業務量	○拡大	●現状 〇縮小	\		

事務事業調書(評価)					
事務事業名	新規勍	忧農者育成総合	ì対策					成26年度
担当課	産業経	経済部 農政語	Ę.		担当者	田	代超	
■事業の執行計		画(Plan)】						
	政策	04	くらしを支え					
総合計画体系	施策	01	時代とニース	<u> に合致し</u>	た農林水産業	の確立		
	基本事		持続可能な農	<u>禄林水産業</u>	構造の構築			
事業の目的	新しい	地域農業の担	い手を確保する。					
事業の概要	の支援	、特に新規就	継承農業者に対す 農給付金等の交付			及び制度要件に	合致させるか	こめ
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度			度		年度
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実績		当初	
		総事業費	10, 911		11,	625	16,	950
■前年度の事業	<u>分析【</u>	評価 (Check)]					
	指標	tE:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	打 目1	宗口仰	中世	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	担い手となる新 承農業者	規就農者及び経営継	経営体	6	4	10	10
	評価	□○達成、	既ね達成した	多少は達	成した 〇道	成できず		•
達成度の		事業対象総	Y 営体数は目標に	達しなかっ	たが、給付対	象者への給付	金の給付等を	·行った。
評価と説明	説明							
見直し余地	判定	〇数年内I	<u> こ見直し可能 (</u>	<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	引が必要 ●st	<u>除地なし</u>	
		Action)]						
事業の方向性	〇見直			〇廃止・				
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\

	通常評		評価)							
事務事業名	担い手への農地集積推進事業					事業開始年度 平成26年度				
担当課	産業経	済部 農政語	*		担当者	向向	田貴彦			
■事業の執行計										
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	01			た農林水産業	の確立				
	基本事		持続可能な農							
			農地を集積し、規			5生産性を宣ん	<u> </u>			
事業の目的	心场应	来0万 <u>户</u> 0	元心で 木 頂 し、 か	でスルクくとス	E07、2017	· 그/포 II 전 ipi v).O°			
	典地バ	いたま活用し	農地の集積・集約	5/レ1- Ho 1.1 幺	はいかばしか!	て切ったなる	こけさる			
事業の概要	辰地ハ	ングを治用し	長地の未慎・未ず	ALPICAX AL	祖仏地域に対し	して励力並でき	८१५५७०			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
■争未天旭和朱	大人	\ / _	5年度		6.47	- -	1 7	左曲		
古光井の井が					<u>6年度</u> 実績		7年度			
事業費の推移	実績/当初予算 実績						当初			
		総事業費	2, 018		2, 823 3, 377					
■前年度の事業		評価 (Check)		•			-, -			
	指標上指標名称		三夕 称	名称 単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	101	ルール		実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	集積協力対象と	たった典地面建	ha	0	0	30	30		
行行をひたり	八木	未慎励力対象と	よりた辰地画領	11a	O	O	30	30		
	評価	〇達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の			管理機構への申請				続きを適切に	こ行った。		
評価と説明	説明			,,,	7個が下水 「の間の並の人门」 他とと返りに打った。					
11 Im C 150-51	Me-51									
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
		Action)		2	0.0 0.7CA11H	, <u></u> _ //				
事業の方向性		, _	現状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算			- ,, - ,	業務量	●拡大 C	現状 〇縮/	is .		
スルハノコウコエ	J J				- 一本:刃主		ノン・ハ しかは、	,		

	通常評価	価事業 事後	:評価)							
事務事業名	多面的機能支払交付金事業					事業開始年度 平成26年度				
担当課	産業経	済部 農政課	₹		担当者	育	藤 和希			
■事業の執行計										
•	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	01	時代とニース	でに合致し	た農林水産業	の確立				
100 H H I H I T I VIC	基本事		持続可能な農							
			携により地域資源			られるとと ま じ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	おけ		
事業の目的			遊休農地の解消に			54000000	- (>6-5/1)10	0317		
			金を活用した取組				と付する			
事業の概要	 УЩНЭ	成形文为人门	並 で 石 川 し /これ 心		7 0 2522 (- 7)	ノ、ス 17並でス	(11.9.40)			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
ニテネスルが何木		年度	5年度		6年	 E度	7	年度		
事業費の推移	実績/当初予算 実績					績	当初			
サ木貝の性物	※事業費 75,551				78.3		82, 601			
■前年度の事業		評価 (Check)	70,001		70, 0	373	<u> 02</u>	, 001		
■前十及の手术	指標			単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指	指標名称		実績	実績	計画	計画		
					大恨					
指標の推移	成果	農振農用地面積	カバー率	%	37	38	39	39		
	-									
	=±/±	▲法士	町も、古代14 (これはは			<u> </u>			
` + + + + *	評価			3多少は達		成できず	I t.			
達成度の	地域住民の参画、連携により地域資源の適切な保全管理等が図られた。									
評価と説明	説明									
	.lnl -	0 11 5 5		- A 11.1.1.4.	7 18 1 18 1 1 1 1		S. 1.1 A 1			
見直し余地	<u>判定</u>		こ見直し可能 (<u> ノ余地はあ</u>	るがまだ時間]か必要 ● 分	<u> 地なし</u>			
		Action)]								
事業の方向性			<u> 状どおり継続 </u>	〇廃止・						
資源方向性	予算	[額 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 ○)現状 〇縮/]\		

1 100 1 VIVE 1 V	通常評価	_ , ,,, ,	評価)					
事務事業名	遊休農	地解消事業				事業開	始年度	和元年度
担当課	産業経済	済部 農政課	1		担当者	向向	田貴彦	
■事業の執行計								
	政策							
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立		
	基本事	業 03	持続可能な農	農林水産業	構造の構築			
±** 0 0 44			利用を図るため、			佐休農地の解消	事業を実施し	<i>,</i> ,
事業の目的			う者に対し補助金					•
		とり20,000円						
事業の概要	10 4 057	2) 20, 0001]						
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	 : 度	7年	 F度
事業費の推移	実績	実績/当初予算 実績				績	当初	
テスタの正り		総事業費 0)	0	
■前年度の事業		平価 (Check)						•
_	指標				5年度	6年度	7年度	8年度
	区分			単位	実績	実績	計画	計画
1617 - 1776								
指標の推移	成果	解消した遊休農地の面積		а	0	0		
	評価	〇達成、	既ね達成した ()多少は達	成し <i>た</i> ● 達	虚成できず		
達成度の	評価 ○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず 事業活用がなかったために、目標達成とならなかった。							
評価と説明	説明							
	D/C-0.1							
見直し余地	直し余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし							
		ction)	<u>-75 = 0 · 1115 (</u>	J - 1(- L) (0)	<u> </u>	<u>, </u>	<u> </u>	
事業の方向性	O 見 直		状どおり継続	●廃止・:	完了			
資源方向性	予算		· ○現状 ●縮小		業務量	O拡大 C)現状 ●縮小	
資源 万问性		- 観 0 孤天	. ∪現状 ●縮小		美 務重)現状 ●稲小	

事務事業調書(通常評	F価事業 事後	(評価)						
事務事業名	農産物売上1.2倍推進協議会運営事業					事業開	始年度 平	成30年度	
担当課	産業総	圣済部 農政談	₹		担当者	北	條 由規		
■事業の執行計									
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	01	時代とニース	時代とニーズに合致した農林水産業の確立					
	基本導	事業 03	持続可能な農	農林水産業	構造の構築				
古米の口が	農産物	カ売上1.2倍増る	を達成させるため			1.2倍推進協議	養会を設立し村	兼 々	
事業の目的	な角度	まからその方策	・手法を検討する	5.					
古米の畑市	さくら	市農産物売上	1.2倍推進協議会	において、	会議や研修会	を開催するこ	とにより、農	産	
事業の概要	物の売	記上向上のため	の手段を検討する	5.					
■事業実施結果	【実施	ī (Do)]							
		年度	5年度		6年	度	7年度		
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		当初		
		総事業費	333		1.	57	523		
■前年度の事業	分析【	【評価(Check)							
	指標	+6.	標名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	1日/	际位例	中世	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	農産物売上1.2億	音推進協議会及び部		4	5	5	5	
担信の推修	泊到	会での活動内容		Ш	4	J	5	J	
	評估		概ね達成した						
達成度の		令和7年度	新学校給食センタ	ターの稼働に	に伴い、地産ナ	也消の推進及で	ト食育の推進の	の観点から地	
評価と説明						連絡協議会を発足し、納品体制の構築と野菜等の生産			
	体制などについて協議し進展させた。								
見直し余地	判员	と 〇数年内	に見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>]が必要 ●糸	<u>₹地なし</u>		
	710	(Action)]							
事業の方向性		重し継続 ●刊	見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予:	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小	1	業務量	○拡大●	現状 〇縮小	١	

担当課 産業経済部 農政課 担当者 佐藤 大樹	和 5年度				
	事業開始年度 令和 5年度				
■事業の執行計画【計画(Plan)】					
政策					
総合計画体系 施策 01 時代とニーズに合致した農林水産業の確立					
基本事業 03 持続可能な農林水産業構造の構築					
古の典業の振興及び典産物の書上の向上を図るため、古内で典業を覚み芋してけ覚まる。	とす				
事業の目的 る者に対し、補助金を交付。					
集御作物 雲地野苺 作付転換将励作物などの作付け拡大に係る施設 機械 種子種苗	代.				
事業の概要 スマート農業機械を補助。	. • •				
■事業実施結果【実施(Do)】					
	年度				
	<u>- </u>				
	40. 205				
■前年度の事業分析【評価(Check)】	, ===				
上	8年度				
単位 11位 11位 11位 11位 11位 11位 11位 11位 11位 110 11	計画				
指標の推移 活動 のべ申請件数 件 33 57 50	50				
評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず	•				
達成度の 振興作物推進支援事業6件、新規導入作物種子・種苗代助成事業18件、農業用	機械等導入支				
評価と説明 説明 援事業17件、スマート農業推進事業5件、学校給食地産地消推進事業1件の計4					
け付け補助金を交付した。	7776				
見直し余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善(Action)】					
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了					
資源方向性 予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮/	١				

			評価)						
事務事業名			推進補助事業			事業開	始年度 平	成26年度	
担当課	産業総	E済部 農政課	7		担当者	佐	藤 大樹		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			,	·			
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	01			た農林水産業				
	基本事	事業 04	地産地消等に	こよる農林	水産業への理	解推進			
事業の目的	安心安	全な地元米や	大豆・麹を使用し	、味噌を製造	造し学校給食や	り販売活動を通	且して、地産地	1消	
争未の日的	の推進	を図り、地元	農産物のPRに著	字与するこ 。	とを目的とする	,)			
事業の概要			転作推奨大豆・麸				ē用。学校給食	11	
			て、補助金270円	/kgを予算	の範囲内で補具	助。			
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年度		
事業費の推移	実績	実績/当初予算 実績			実	績	当初		
		総事業費	528		54	4	554		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)]						
	指標	+6+	票名称	名称 単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	示句例	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	助地元小中学校への味噌販売額		千円	1, 056	1, 087	1, 107	1, 107	
74 100 00 12 12					.,		-,	.,	
	= /				<u> </u>			ļ	
\+ - \ \	評価		既ね達成した(成できず	// // -! -/> <i>/</i> - /-	m –	
達成度の	= 1/ 51	市内小中学校の給食に安心安全で地元産農産物を原材料とした手作り味噌を使用したことに							
評価と説明	説明	1 より、地座	産地消の推進が図	られた。					
	11/11 	0 % 左 力 /	- D + 1 - T-44	A JIL J L L L	7 18-1-19-1	ENT OF	S 11h ab S 1		
見直し余地	<u>判定</u>		こ見直し可能 (●余地はめ	るかまた時间	か必要 〇分	<u> :地なし</u>		
	<u> </u>	Action)	3.15.15.45.11.6bb.6+	O = 1 - 1	5 7				
事業の方向性			状どおり継続	〇廃止・			1111 A 45 .1.		
資源方向性	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小	1	業務量	O拡大	現状 〇縮小		

事務事業調書(通常評	価事業 事後	(評価)						
事務事業名	農業委	農業委員会運営事業							
担当課		産業経済部 農業委員会事務局 担当者 小倉 真理							
■事業の執行計	画【計	T計画(Plan)							
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	01	時代とニース	ぐに合致し	た農林水産業	の確立			
基本事業 99 総合事業									
事業の目的	市内の	農地が適正に	管理される。						
争未の日的	担い手	への農地の集	<u> 積率が高くなる。</u>						
事業の概要			の運営、農地の通			コール(利用ホ	犬況調査)、ホ	川用	
			管理事業による農	農地の集積	・集約化				
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年度		7年度		
事業費の推移	実終	実績/当初予算 実績				績	当初		
		総事業費	21, 007		21, 6	1, 673 22, 489			
■前年度の事業		評価 (Check)]						
	指標	指	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	101	ホロ が	平位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移		総会審議件数		件	265	227	200	200	
コロリホマンコエリタ		心五田城门外		'''	200	221	200	200	
		担い手の集積率	(%)	%	58. 8	58. 5	59	59. 5	
			• •				00	00.0	
	評価)多少は達		成できず			
達成度の			(19名) に加え、				地利用の最適	化活動を行っ	
評価と説明	説明	説明たが、担い手への農地の集積率は減少してしまった。							
	定例総会・調査会(毎月1回)、利用状況調査、担い手への農地のあっせん等								
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし								
		Action)	7.15.15.65.11.666.6+	<u> </u>	<u></u>				
事業の方向性				〇廃止・		1044	11111111111111111111111111111111111111		
<u> </u>	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	1	